

市内最大級の大規模団地である野庭住宅・野庭団地の再生に向けた「サウンディング型市場調査（対話）」及び「近距離モビリティ『WHILL』の実証実験」を行います！

■サウンディング型市場調査（対話）について

【対話対象事業】

- 1 野庭住宅の建替え及び余剰地の活用について
- 2 旧野庭中学校跡地の活用について
- 3 野庭団地の管理の効率化や空室の流通等について
- 4 野庭住宅及び野庭団地全体の魅力・利便性向上や課題解決に資する民間事業について
- 5 その他（上記以外）

本調査は、民間事業者の皆様との意見交換を行い、現在策定を進めている「再生ビジョン」の参考とするとともに、具体的な事業化につなげていくことを目的として実施するものです。

対話期間（予定）	令和3年6月11日（金）～令和3年6月25日（金）
エントリー締切	令和3年5月28日（金）17時00分

※サウンディング型市場調査の実施要領は、次のURLをご覧ください。

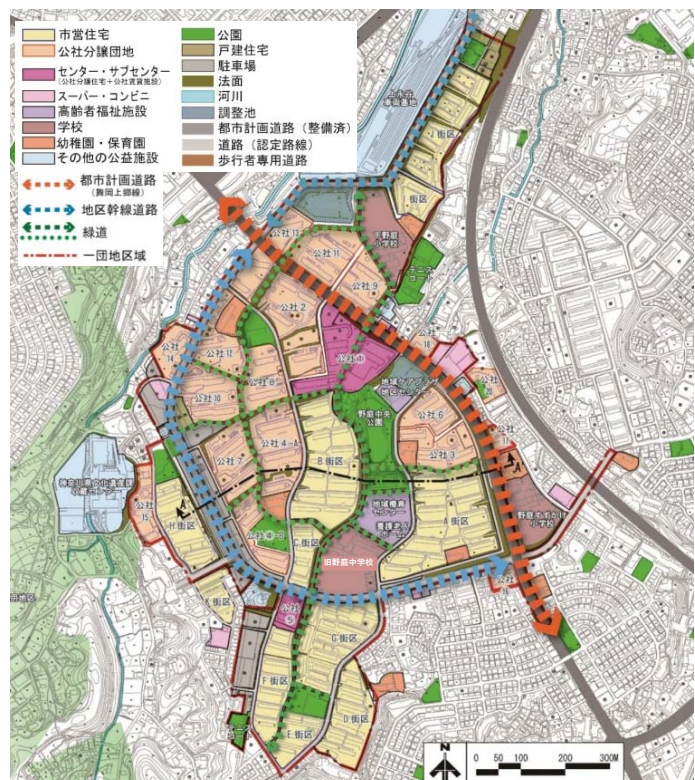
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/jutaku/shiryo/noba20210427.html>

◇野庭住宅・野庭団地について

港南区野庭町に位置する野庭住宅及び野庭団地は、全体で約6,000戸を有する市内最大級の大規模団地です。建設開始より約50年が経過し、住宅・施設の老朽化や、人口減少・高齢化など様々な課題が表れつつあります。

◇「野庭住宅と野庭団地の未来を考える会」について

野庭住宅及び野庭団地の魅力や課題を共有し、まちの目指すべき未来の方向性を共有するための「再生ビジョン」を検討・策定することを目的として、地元の皆様、有識者、行政等で構成する組織で、令和3年3月に正式に設立しました。



■近距離モビリティ『WHILL』の実証実験について

野庭住宅・野庭団地において高齢化等により課題となっている移動手段の解決に向け、電動の近距離モビリティ「WHILL」等を活用した新たな移動手段の検証を進め、「SDGs 未来都市・横浜」の実現を図ります。

横浜市は「ヨコハマSDGsデザインセンター」を中心に、市民・企業・大学等と連携し「SDGs 未来都市・横浜」の実現に向け、取組を進めています。


このたび、移動課題を抱える野庭住宅及び野庭団地において、株式会社サンオータスと連携し、WHILL等を活用した新たな移動手段の検証を進めます。

まずは、WHILLの周知や移動に関するニーズを把握するため、地域住民の皆様を対象とした試乗・体験会を、5月23日（日）に横浜市野庭地域ケアプラザで実施します。




利用モビリティ「WHILL Model-C」
「すべての人の移動を楽しくスマートにする」をコンセプトに開発されたモビリティ。道路交通法上は歩行者扱いとなる。

【SDGs 未来都市・横浜について】

SDGs未来都市・横浜 

横浜市は、2018年6月に国から、SDGsの達成に向けて優れた取組を行う「SDGs 未来都市」の選定を受け、横浜市の最大の強みである市民・事業所などの「市民力」との連携による横浜型「大都市モデル」の創出に向けて「ヨコハマSDGsデザインセンター」を中心に様々な取組を進めています。

【ヨコハマSDGsデザインセンターについて】

ヨコハマSDGsデザインセンター 

SDGs 未来都市・横浜の実現を目指し、自らもステークホルダーとして、課題解決に取り組む、目的志向・実践型の中間支援組織です。多様なステークホルダーのニーズ・シーズをコーディネートし、環境・経済・社会的課題の統合的解決に向け取り組んでいます。（HP：<https://www.yokohama-sdgs.jp>）

お問合せ先

(野庭住宅・野庭団地について)	建築局市営住宅課担当課長	寺口 達志	Tel 045-671-3665
	港南区区政推進課長	高岡 昭人	Tel 045-847-8320
(WHILLを活用した取組について)	温暖化対策統括本部SDGs未来都市推進課担当課長	田村 康治	Tel 045-671-2477